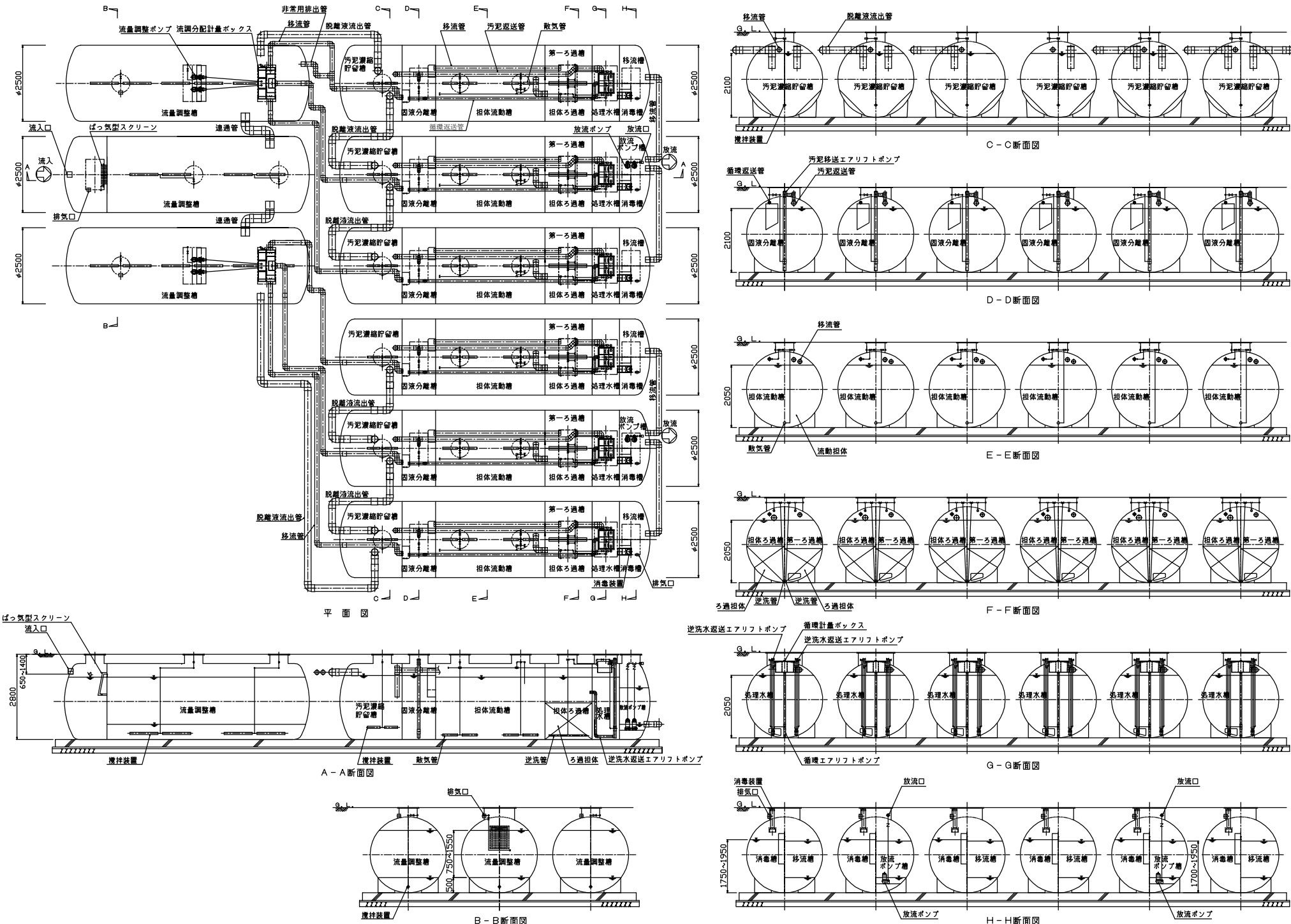


# 型式適合認定書別添仕様書及び図面

建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定による流量調整型担体流動ろ過循環方式  
【大臣認定番号(認定年月日): DW3N-0169(平成30年6月12日)】

会社名	株式会社 <b>クボタ</b>		
	〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号 電話06-6648-2111		
型式	クボタ浄化槽 KRZ-B		
型式適合認定番号	型01CafOa1064711	認定年月日	令和3年12月24日
処理対象人員	501人~10000人	日平均汚水量	25.1~1000.0m³/日
流入BOD	50~450mg/L		
放流水質	大臣認定による性能: BOD 20mg/L以下, COD 30mg/L以下 SS 10mg/L以下, pH 5.8~8.6 大腸菌群数3,000個/cm³以下 n-ヘキサン抽出物質 20mg/L以下		



仕様表				
有効容量 (m³)	ばっ気型スクリーン	0.590~25.108		
	流量調整槽	4.976~837.289		
	固液分離槽	3.520~242.935		
	第一ろ過槽	1.589~109.682		
	担体流動槽	3.876~460.633		
	担体ろ過槽	1.589~109.682		
	処理水槽	3.876~267.464		
	消毒槽	放流ポンプ槽付き 1.551~51.183、自然放流 1.551~119.632		
	汚泥濃縮貯留槽	3.911~1556.801		
	寸法 (mm)	ばっ気型スクリーン	幅900~2500	長さ750~8700 深さ1000~1750
流量調整槽		幅2500	長さ3300~457700 深さ750~1550	
固液分離槽		幅2500	長さ800~55200 深さ2100	
第一ろ過槽		幅1250	長さ800~55200 深さ2050	
担体流動槽		幅2500	長さ900~106950 深さ2050	
担体ろ過槽		幅1250	長さ800~55200 深さ2050	
処理水槽		幅2500	長さ900~62100 深さ2050	
消毒槽		放流ポンプ槽付き W1250、L1000~69000×H1750 自然放流 W1250、L1000~69000×H1750~1950		
汚泥濃縮貯留槽		幅2500	長さ1100~389850 深さ2100	
材料及び機械設備の仕様		仕切板	材質:FRP(ガラス繊維強化プラスチック) 板厚8mm以上	
	第一ろ過槽担体	形状	中空円筒状	
		材質	PPまたはPE	
		寸法	φ14~16×L15mm	
	担体流動槽担体	形状	中空円筒状	
		材質	PUまたはPVA	
		寸法	20□×20mm	
	担体ろ過槽担体	形状	中空円筒状	
		材質	PPまたはPE	
		寸法	φ14~16×L15mm	
消毒槽	薬剤接触時間	15分以上		
	薬剤の種類と接触方法	塩素錠剤・浸漬式		
	薬剤の貯留日数	14日以上		
送風機	形状	ダイヤフラム式またはロータリー式またはルーツ式		
	吐出風量	60~25,680L/分		
仕様の寸法	流入管・移流管	材質 PVC(硬質塩化ビニール) PVC PVC マンホール チェッカープレート	内径(mm)	40~300
	放流管			40~150
	汚泥移送管・エアフト管			13~100
	送気管			600
	マンホール			600×1000 600×1200 750×1150 750×1650 1200×1200

注)寸法の単位はmm、容量の単位はm³とする  
注)容量、寸法については範囲で示す。  
注)「深さ」は有効水深とする。

- 流量調整槽は1管体もしくは複数のFRP製管体を連通して配置する。
- 汚泥濃縮貯留槽以降の管体は、500人槽までで設計した同構造の管体を1管体もしくは複数を並列に配置する。
- 流量調整槽に流調分配計量ボックスを複数設ける場合は、以下のとおりとする。
  - 複数の流量調整槽を直列配置しない場合は、流入口から等距離となる位置に各々の流調分配計量ボックスを設ける。
  - 複数の流量調整槽を直列配置する場合は、流入口から最も離れた後段の槽に複数の流調分配計量ボックスを設ける。
- 流調分配計量ボックスは2分配または3分配とする。
- 放流(ポンプ)槽は2~4系列ごとにまとめる場合がある。
- 流量調整槽周囲の連通管は、複数本設ける場合がある。

- 振動・騒音・防音対策は必要に応じて行う。
- 流入・設置条件によりオプション槽を組み合わせる。
- オプション槽とは原水ポンプ槽、油水分離槽、汚水貯留槽、処理水貯留槽、水中プロフ槽などを言う。
- 必要に応じて消泡装置を設ける場合がある。
- 脱離液流出管は合流せず、それぞれの系列から流量調整槽へ配管する場合がある。
- 非常用排出管はいずれかの系列の移流管と合流し固液分離槽へ配管する場合がある。
- 保守点検の頻度: 1回/2週 以上
- 清掃の頻度 : 1回/2週 以上